

エコアクション21

# 環境経営レポート

第14期：2022年1月～12月

---

## 【目次】

- 1 組織の概要
- 2 実施体制
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標（中長期）
- 5 環境経営活動計画と具体的施策
- 6 環境経営目標の実績と評価
- 7 2023年次年度環境経営活動取組計画
- 8 環境関連法規への違反、起訴等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直し・指示

信濃酒井建設株式会社

作成日：2023年3月23日

---

## 1. 組織の概要

### 1) 事業所及び代表者名

事業所名：信濃酒井建設株式会社  
代表者名：代表取締役 山崎 徳彦  
法人設立年月日：昭和38年 5月 31日  
資本金：2,000万円

### 2) 所在地

本社：長野県長野市篠ノ井山布施8470  
七二会営業所：長野県長野市七二会乙2644-1

### 3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者：常務取締役 小山 正彦  
担当者：環境事務局 田橋 美香、小池 明弘  
連絡先：(TEL) 026-229-2418 (FAX) 026-229-2560  
HP：<https://sinasaka.com/>  
E-mail：a.koike@yamazaki-group.jp

### 4) 事業内容

土木一般工事：土木工事業、とび、土工工事業、舗装工事業、  
水道施設工事業、管工事業、解体工事業

産業廃棄物収集運搬業：長野県知事許可 許可番号 2008072814

許可年月日 令和2年 9月 27日

許可の有効年月日 令和7年 9月 26日

事業範囲 ・廃プラスチック ・紙くず ・木くず ・繊維くず  
・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず  
(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)  
以上いずれも特別管理廃棄物を除く。

運搬車両 ・2tダンプトラック 2台 ・4tダンプトラック 1台  
・3.5tキャブオーバ 1台 ・6.7tキャブオーバ 1台

受託量 423.9t (2022年実績)

338.9t (2021年実績)

227.3t (2020年実績)

### 5) 事業の規模

売上高：3億5,473万円

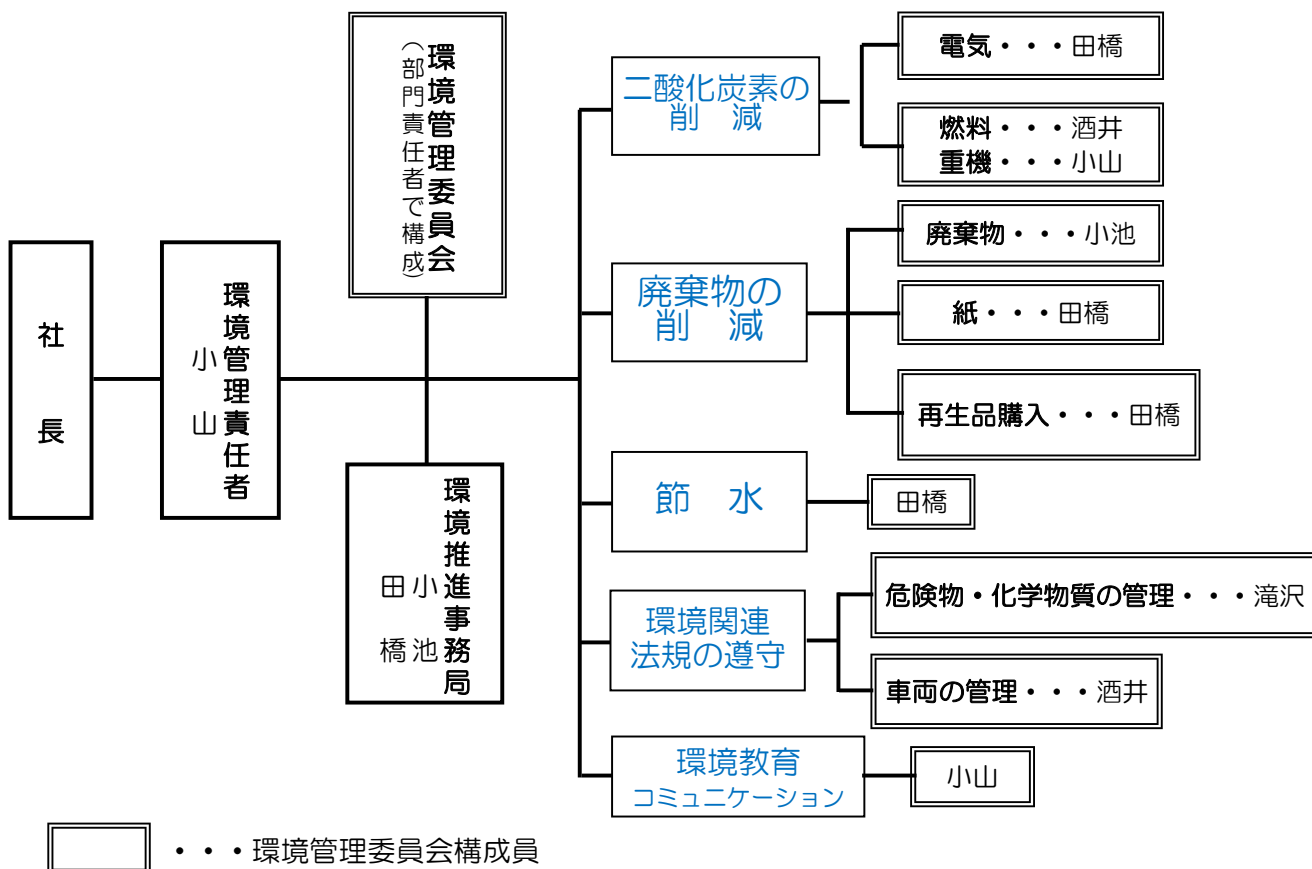
従業員数：18名

### 6) エコアクション21の対象範囲

全組織および、全事業を対象とする。

## 2. 実施体制

### 1. 組織図



### 2. 実施体制における役割・責任

部 門		役 割 ・ 責 任
社 長		環境マネジメントシステムを実施及び管理に不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専門的な技能・技術、並びに資金を含む。
環境管理責任者		環境マネジメント業務の総括推進者で、環境マネジメントシステム確立・維持及び経営者への報告に関し、他の責任に関わりなく、責任と権限を有する。 環境マネジメントシステム運用に関し、環境目的・目標の設定、社内外とのコミュニケーション及び環境の教育訓練実施の責任者である。
環境管理委員会		環境マネジメントシステム運営の要として、環境に関する活動の実施内容及び活動計画の運用状況等について協議する。
部 門 責 任 者		日常業務遂行及び、環境マネジメントシステム運用における実行責任者である。 各部門の環境目標・活動計画による活動の責任者でその推進を図る。
実行部門	各課	環境マネジメントシステム運用において、環境方針に基づく環境保護活動の実行単位である。
	環境推進事務局	環境マネジメントシステム運営の総括事務を行う。

### 3. 環境経営方針

#### < 基本理念 >

信濃酒井建設株式会社は、環境保全の重要性を認識し、建設工事の事業活動において、自然環境の保全、環境負荷の低減及び改善に取り組み、地域社会の環境保全に努めます。

#### < 行動指針 >

1. 事業活動にあたって、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努める。
2. 環境関連の法規・規則・条例等を遵守し、事業活動を行う。
3. 次の項目を当社の環境目標とし、継続的に取り組む。
  - 1) 事業活動で使用する電力、化石燃料、紙等の使用量の削減に努める。
  - 2) 可能な限り廃棄物の発生を抑制し、減量化に努めるとともに適正な処理を行う。
  - 3) 水の使用量の抑制に努める。
  - 4) 事業活動で使用する建設資材、仮設資材及び事務用品等は、環境に配慮した物品を積極的に使用する。
4. 社員の環境教育を実施し、当社環境方針を周知させるとともに、社外にも公表し環境保全活動への認識の向上に努める。

制定日：2009年11月1日  
改定日：2021年7月29日



信濃酒井建設株式会社  
代表取締役 山崎 徳彦

## 4. 環境経営目標（中長期）

### 1. 環境経営目標(中長期)

1月～12月

項目	単位	基準値(2019)	2023年目標	2024年目標	2025年目標	
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	150,000	148,500	147,000	145,500
		(%)	—	99%	98%	97%
	電力	kWh	19,776	19,578	19,380	19,183
	ガソリン	ℓ	10,743	10,636	10,528	10,421
	軽油	ℓ	40,456	40,051	39,647	39,242
	灯油	ℓ	1,512	1,497	1,482	1,467
都市ガス	kg	1,188	1,176	1,164	1,152	
一般廃棄物	kg	140	140	140	140	
産業廃棄物	kg	426,210	426,210	426,210	426,210	
水使用量	m <sup>3</sup>	510	510	510	510	

中部電力(株) 2020年度 二酸化炭素実排出係数 0.406kg-CO2/kWhを使用

### 2. 環境経営計画

#### (1) 二酸化炭素削減について

電気使用量の削減	節電の徹底	→ 事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する → 事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理	→ 未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	退社時電源チェック	→ 目視確認
	クールビズの徹底	→ 毎年5月から10月まで実施する

全車両（会社所有、通勤車両）に適用する

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→ 急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップの実施	→ エンジン停止、空ふかし排除
	運行車両の削減	→ 乗り合わせなどにより運行車両を減らす
	車両管理の徹底	→ 車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底	→ 最適運行最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブ温度管理の徹底	→ ムダなストーブを使用しない（冬季20℃～22℃）
	退社時電源チェック	→ 目視確認（最終退出者と同伴者）

廃棄物排出量の削減	一般可燃ごみ削減	→ 無駄なコピーをしない／不要な資料の削減 再利用の促進（コピー用紙裏表利用）
	混合廃棄物の分別	→ 産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う

#### (2) 水使用量の削減

節水の徹底	→ 清掃時、手洗い時節水を各自にて行う
-------	---------------------

## 5. 環境経営活動計画と具体的施策

<b>1. 電気使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用電力量の調査と記録</li><li>・ 不要な照明の消灯、昼休み時間の消灯</li><li>・ エアコンの温度設定 夏27℃ 冬23℃</li><li>・ 暖房時のエアコン使用を抑制</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 本社内の老朽化したエアコンと暖房設備の取替を順次行う。</p>
<b>2. 車両の燃料使用量の低減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 給油記録（運転日報）の記録と集計</li><li>・ エコドライブの実施</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 乗合により、不必要な車両の使用を減らす。</p> <p>・ 始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。</p>
<b>3. 重機燃料使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現場毎の給油量の記録と集計</li><li>・ アイドリング時間の短縮</li><li>・ 始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。（他人まかせにしない）</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 適正回転での作業の教育と実施</p> <p>・ 作業内容にあった機械・機種を選定</p>
<b>4. 紙使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 紙使用量の集計</li><li>・ 裏紙の活用</li><li>・ パソコン画面上での印刷前の確認を徹底して、不用意な印刷を減らす。</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ プロッター使用前にA3で印刷を行い、内容確認のうえ使用する。</p>
<b>5. 水道使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水道使用量の集計</li><li>・ 節水の啓発表示</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 節水器具への取替を順次行う。</p>
<b>6. 廃棄物の分別の徹底</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃棄物置き場の確定と表示</li><li>・ 一般廃棄物の計量と記録</li><li>・ 廃棄物の分別と適正処分</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 現場内での、日々の分別保管管理を徹底する。</p>
<b>7. 危険物・化学物質の管理の徹底</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 緊急事態の対応訓練の実施と記録</li><li>・ 環境関連法規の遵守状況チェック</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 使用する場合は、安全データシート(SDS)の内容を把握して管理・使用する。</p>
<b>8. 再生品使用品目の調査と使用率の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 再生品使用の把握と周知</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 本社) グリーン購入対象事務用品を、購入前に確認し積極的に購入する。</p> <p>・ 現場) NETIS登録の資機材を、積極的に導入する。</p>
<b>9. 公害防止のための工夫と意識の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 車両・機械の自主点検・定期点検の計画と実施</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・ 里山の自然環境をまもる為の動植物の勉強を行う。</p>

## 6.環境経営目標の実績と評価

### (1)環境経営目標の実績

(1月~12月)

項 目		基 準 値 (2018年度)	2022年度 目標値	2022年度 実 績		
CO2総排出量 (kg-CO2)		150,000	148,500	140,823		
				差引	達成率	
電力	kWh	18,000	18,000	19,776	1,776	110%
	kg-CO2	7,308	7,308	8,029	721	110%
ガソリン	ℓ	10,000	10,000	10,743	743	107%
	kg-CO2	23,200	23,200	24,924	1,724	107%
軽油	ℓ	40,000	40,000	40,456	456	101%
	kg-CO2	103,200	103,200	104,376	1,176	101%
灯油	ℓ	3,174	3,174	1,188	-1,986	37%
	kg-CO2	7,909	7,909	2,958	-4,951	37%
上水道	m <sup>3</sup>	480	480	510	30	106%
一般廃棄物	kg	180	180	140	-40	78%
産業廃棄物	kg			426,210		

中部電力(株) 2020年度 二酸化炭素実排出係数 0.406kg-CO2/kWhを使用

### (2)2022年度実績の評価

#### (1) 電力

期間中における電気量の使用量は微動だったため、今後の節電に努める。

#### (2) 軽油、ガソリン

仕事量の増加に伴い移動の機会が多く、ガソリンの使用量は増えたが、重機の稼働時間が減ったため、軽油の使用料は減った。

#### (3) 灯油

冬季期間におけるコンクリート工事が少なかった為、ジェットヒーターなどの使用頻度が少なかった事が要因。

事務所にて使用する灯油については、無駄な使用を控える様に努める。

#### (4) 上水道

節水に努めたため使用料が減った。

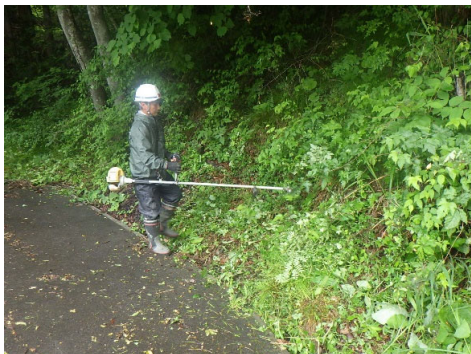
#### (5) 産廃

昨年比で期間中における仕事内容の変化に伴い、現場廃棄物の減少となった。

### (3) 地域社会への取り組みと活動

内容	活動頻度等
・ 地域ボランティア活動	1 回以上/各現場
・ 支障木撤去作業	3か月程度/年
・ 冬季除雪・排雪・塩カル散布作業	降雪・積雪期
・ 会社周辺美化活動	通年

(草刈り)



(側溝、路肩清掃)



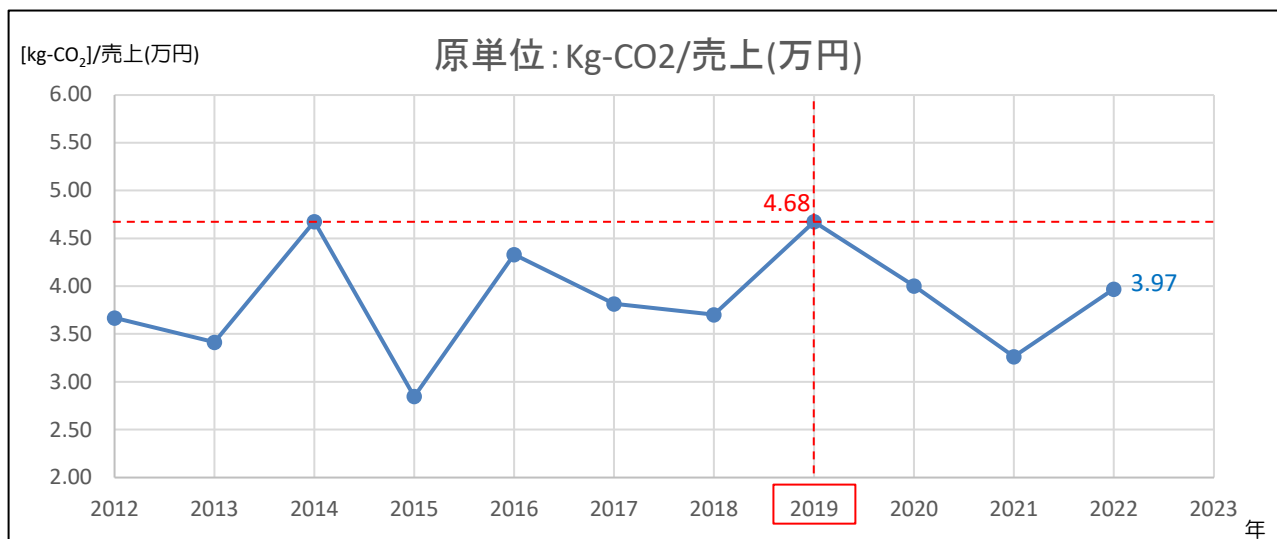
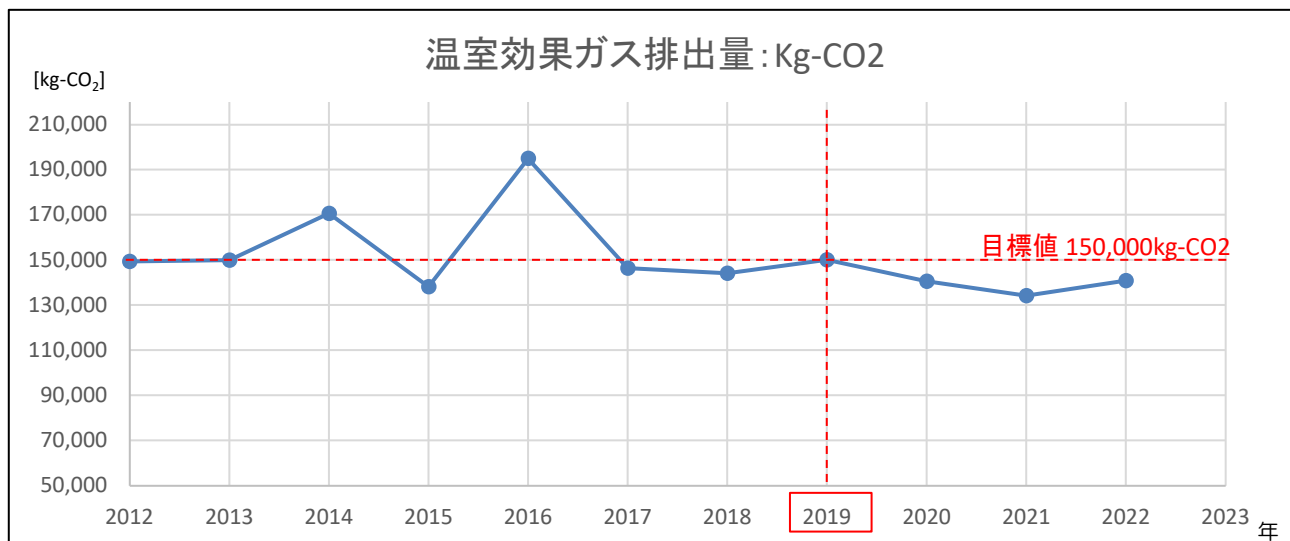
(倒木処理)





#### (4) 環境への負荷の取りまとめ表

※2021年度からは、2020年度中部電力実排出係数0.406kg-CO<sub>2</sub>/kWhを3年間採用する。



年度	売上		温室効果ガス排出量			
	(万円)	前年比	[kg-CO <sub>2</sub> ]	原単位	前年比	基準年比
2012	40,700	0.2%	149,282	3.67	23.3%	-
2013	43,900	7.9%	149,912	3.41	-6.9%	-
2014	36,500	-16.9%	170,636	4.67	36.9%	-
2015	48,500	32.9%	138,139	2.85	-39.1%	-
2016	44,997	-7.2%	194,955	4.33	52.1%	-
2017	38,366	-14.7%	146,387	3.82	-11.9%	-
2018	38,906	1.4%	144,037	3.70	-3.0%	-
2019	32,092	-17.5%	150,032	4.68	26.3%	-
2020	35,104	9.4%	140,478	4.00	-14.4%	-14.4%
2021	41,102	17.1%	134,174	3.26	-18.4%	-30.1%
2022	35,473	-13.7%	140,823	3.97	21.6%	-15.1%

← 基準年：2019年

## 7. 2023年 次年度環境経営活動取組計画

<b>1. 電気使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・使用電力量の調査と記録</li><li>・不要な照明の消灯、昼休み時間の消灯</li><li>・エアコンの温度設定 夏27℃ 冬23℃</li><li>・暖房時のエアコン使用を抑制</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・本社内の老朽化したITツと暖房設備の取替を順次行う。</p>
<b>2. 車両の燃料使用量の低減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・給油記録（運転日報）の記録と集計</li><li>・エコドライブの実施</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・乗合により、 unnecessary 車両の使用を減らす。</p> <p>・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。</p>
<b>3. 重機燃料使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・現場毎の給油量の記録と集計</li><li>・アイドリング時間の短縮</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。（他人まかせにしない）</p> <p>・適正回転での作業の教育と実施</p> <p>・作業内容にあった機械・機種を選定</p>
<b>4. 紙使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・紙使用量の集計</li><li>・裏紙の活用</li><li>・パソコン画面上での印刷前の確認を徹底して、不用意な印刷を減らす。</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・プロッター使用前にA3で印刷を行い、内容確認のうえ使用する。</p>
<b>5. 水道使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・水道使用量の集計</li><li>・節水の啓発表示</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・節水器具への取替を順次行う。</p>
<b>6. 廃棄物の分別の徹底</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・廃棄物置き場の確定と表示</li><li>・一般廃棄物の計量と記録</li><li>・廃棄物の分別と適正処分</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・現場内での、日々の分別保管管理を徹底する。</p>
<b>7. 危険物・化学物質の管理の徹底</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・緊急事態の対応訓練の実施と記録</li><li>・環境関連法規の遵守状況チェック</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・使用する場合は、安全データシート(SDS)の内容を把握して管理・使用する。</p>
<b>8. 再生品使用品目の調査と使用率の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・再生品使用の把握と周知</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・本社) グリーン購入対象事務用品を、購入前に確認し積極的に購入する。</p> <p>・現場) NETIS登録の資機材を、積極的に導入する。</p>
<b>9. 公害防止のための工夫と意識の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・車両・機械の自主点検・定期点検の計画と実施</li></ul> <p><b>重点項目</b> ・里山の自然環境をまもる為の動植物の勉強を行う。</p>

## 8.環境関連法規への違反、起訴等の有無

### (1) 環境関連法規

下記のとおり、環境管理責任者が中心となり、環境関連法規及び条例等の遵守を確認した結果、違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘も、過去10年間はありませ

ん。

2023.3.23

No.	法令等の名称	適用される要求事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	・産業廃棄物収集運搬業者、処分業者との契約	遵 法
		・産業廃棄物管理表（マニフェスト）の交付と保存	遵 法
		・産業廃棄物管理票交付状況報告 (産業廃棄物収集運搬業)	遵 法
		・産業廃棄物収集運搬業の許可	遵 法
		・産業廃棄物排出業者との契約 (委託契約書、マニフェストの保存)	遵 法
		・産業廃棄物の運搬実績報告書の提出	遵 法
2	騒音規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	遵 法
3	振動規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	期間中 該当なし
4	水質汚濁防止法	・特定建設作業実施の届出	期間中 該当なし
5	大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法	・産廃物焼却炉の設置（火床面積0.5㎡以上又は 焼却能力50kg./h以上の場合届出）	期間中 該当なし
		・特定粉じん(アスベスト)排出等作業	期間中 該当なし
6	消防法	・少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	遵 法
7	資源の有効な利用の促進に 関する法律	・再生資源利用計画書の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
		・再生資源利用促進計画の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
8	建設工事に係る資源の再資源 化等に関する法律 (建設リサイクル法)	・対象建設工事の説明及び告知	遵 法
		・再資源化の報告	遵 法
9	廃棄物の適正な処理の確保に 関する条例（長野県・長野市）	・産業廃棄物の減量等に関する計画書の作成 及び実施状況報告	遵 法
10	長野県公共事業等環境配慮推進 要綱	・工事毎に環境配慮指示があった場合に対応 ・環境全般に対し環境配慮の努力義務	期間中 該当なし

## 9. 代表者による全体評価と見直し・指示

2023年 3月 23日

<b>(1)環境経営方針について</b>
【見直し、指示事項 等】 <ul style="list-style-type: none"><li>環境経営方針の変更はとくになし。</li></ul>
<b>(2)環境経営目標及び環境経営計画について</b>
【見直し、指示事項 等】 <ul style="list-style-type: none"><li>電気使用量等の数値目標は未達であったが、本社の改修とエアコンの更新が完了。 効果の評価を次年度以降確認する。</li></ul>
<b>(3)実施体制</b>
【見直し、指示事項 等】 <ul style="list-style-type: none"><li>担当者として事務員（塩原）を追加した。 今後OJT等により協力、引継ぎ、継続体制を強化していく。</li></ul>
<b>(4)総合評価</b>
【見直し、指示事項 等】 <ul style="list-style-type: none"><li>倉庫の片づけや収納方法等の検討・実施が実際にそれらを使用する社員自ら提案・実施したことを評価する。</li><li>引き続き電子化の推進、機材の更新・整備、社員研修を行い環境負荷を減らしていく。</li></ul>